

平成30年度【家庭科・家庭基礎】シラバス

科目名	対象学科・学年	単位数	履修
家庭基礎	特進コース・2学年	2単位	必修

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	家族や生活の営みを人の一生とかかわりの中で捉え、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とする。
使用教科書	開隆堂「家庭基礎 明日の生活を築く」

2. 学習計画および評価方法等

学期	月	学習内容	学習項目 学習のねらい	評価の基準	評価方法
一 学 期	4	家庭科の学び方 HP、学校家庭クラブについて	○家庭科で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知り、HPや家庭クラブの意味と進め方について理解する。	・HPを常に意識させ後日実施	
	5	第1部 人生を見通し、共に生きる 第1章 青年期の自立と家族・家庭	1. 青年期の自立 ○生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について考えようとしている。 ○生涯を見通して、生活課題に対応した意思決定をし、責任をもって行動することが重要であることを理解する。 2. 家族・家庭を考える ○現在の家族、家庭における課題に気づき、その課題について調査し、資料を収集する。 ○家族、家庭について考え、家族の現状やこれからの求められる家族の機能について理解する。	○人の一生についてライフステージを通して捉え特徴と課題を考えようとしている。 【関】 ○責任をもって行動することは、意思決定において重要であることと考えられる。 【思】 ○事例研究を通して、家族や家庭生活の在り方について検討するための調査をする。 【技】 ○家族の現状やこれからの求められる家族の機能について理解している。 【知】	授業態度 ワークシート プリント学習 ノート提出 定期考査
	6	第2章 子どもの発達と保育	1. 子どもの発達と生活 ○子どもが発達過程、生活習慣が身につくかを理解し、子どもの健全な発達を支える親や周りのおとなの役割について考える。 2. 子どもの育つ環境 ○ふれ合い実習などを通して、子どもたちとふれ合い、子どもの実際の姿を観察する。 ○子育てに関する社会的支援や子どもの現状を知り、子どもの権利の保障や福祉について理解できる。	○こどもの発達や生活習慣について感心を持ち、それらの親や周りの大人の役割について考えられる。 【関】【思】 ○子どもたちと実際にふれ合い、子どもたちの発達の実際の姿について観察している。 【技】 ○子どもに関する権利や保障、福祉について理解している。 【知】	授業態度 ワークシート プリント学習 ノート提出 定期考査
			第3章 高齢期の生活	1. 高齢者の生活と課題 ○身のまわりの人びとに視野を広げ、高齢期の身体的および心理的特徴、現状の課題について考える。 ○高齢者と実際にふれ合い、話すなど高齢者とかわることができる。 2. 高齢社会を生きる ○超高齢社会を迎えている現状と課題について理解し、対策を考える。	○高齢期の身体的・心理的特徴や現状の課題に取り組み、考えることができる。 【関】【思】 ○高齢者を尊重した態度でかかわっている。 【技】 ○超高齢社会の現状と課題について理解している。 【知】
一 学 期	7	第4章 共生社会における地域や家族	1. リスクに備える ○家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。 2. 高齢者と子育てへの社会的支援 ○私たちの生涯にわたっての生活保障のしくみについて理解する。 3. 共生社会に向けて ○居住している地域のコミュニティ活動について、情報を収集し、参加することができる。	○家族・家庭の生活を支える福祉などを主体的に理解しようとしている。 【関】 ○生涯にわたっての生活保障のしくみについて理解できる。 【知】 ○地域のコミュニティ活動等について、情報を収集することができる。 【技】	授業態度 ワークシート プリント学習 ノート提出 定期考査

		第4章 共生社会における地域や家族	○共に生きる社会をつくっていくにはどうすればよいかについて考える。	○共に生きる社会をつくっていくためには自分はどうするか、工夫し考えている。【思】	
二 学 期	9 10	第2部 生活を営み、 自立する 第2章 着る	1. 被服の機能と着装 ○被服の機能と着装、素材などについて考えようとしている。 ○健康で安全かつ快適な衣生活を送ることについて考え、自分の個性を見つめ、自分の衣生活をふり返る。 2. 被服の管理と計画 ○被服の入手、洗濯、保管など、衣生活を自ら管理する知識と技術を習得する。 ○組成表示や取扱い表示を理解し、着心地や管理を考えた被服の選択について考える。 3. 基礎縫い・エプロン製作	○被服の機能と着装、素材などについて考えている。【関】 ○健康で安全かつ快適な衣生活を送ることについて考え、自分の個性を見つめ、自分の衣生活をふり返ることができる。【思】 ○被服の入手、洗濯、保管など、衣生活を自ら管理ができる。【技】 ○組成表示などを理解し、着心地や管理を考えた被服の選択について考えられる。【思】	授業態度 提出課題 ワークシート プリント学習 ノート提出 定期考査
	11 12	第1章 食べる	1. 食生活の課題 ○食生活について考えを深め、食事の重要性について考える。 ○環境に配慮した食生活について考える。 2. 食品と栄養 ○中学校での学習を踏まえ、青年期と家族の各ライフステージの栄養的特徴について理解する。 3. 食品の選択と保存 ○食品の選択と衛生について関心をもち、必要な知識を身につける。 4. 食事を調える ○食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、献立を立てることができる。 ○目的を明確にした調理実習を行い、調理技術を習得する。	○食生活の重要性について関心をもって取り組んでいる。【関】 ○環境に配慮した食生活について考えている。【思】 ○青年期と家族の各ライフステージの栄養的特徴について理解できている。【知】 ○食品の選択、衛生などについて理解している。【知】 ○食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、献立を立てることができる。【思】 ○食生活の自立に必要な調理ができています。【技】	授業態度 実習態度 ワークシート プリント学習 ノート提出 定期考査
三 学 期	1	第2部 第3章 住まう	1. さまざまな住まいと暮らし方 ○生涯発達の視点で、家族の生活に応じた適切な住居の計画や選択を考える。 ○住まい手やその家族の生活と各ライフステージに応じた住生活について考える。 2. 安全で快適な住まい ○安全で健康かつ快適な住居や耐久性の高い住居を選択するために、必要な住居の機能について理解する。 3. まちづくりと住まい ○住生活にまつわる危険や安全対策を考える。 ○地域コミュニティと共生できる住居の在り方を理解し、それにかかわる社会的しゅみを理解する。	○生涯を見通した住生活について考え、生涯発達の視点で家族の生活に応じた適切な住居の計画や選択を考えている。【関】【思】 ○各ライフステージに応じた住生活について考える。【思】 ○住居選択に、必要な住居の機能について理解できている。【知】 ○災害安全対策を考える。【思】 ○地域コミュニティと共生できる住居の在り方などのために情報を収集し、整理することができる。【技】	授業態度 ワークシート プリント学習 ノート提出 定期考査
	2	第2部 第4章 消費者市民として生きる	1. 生涯の経済計画とリスク管理 ○生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済のかかわりなどについて自ら考えようとしている。 2. 消費行動と意思決定 ○適切な意思決定や消費行動によって意見を表明し、行動することが消費者の責任であることについて考える。 3. 持続可能な消費 ○環境問題に配慮した自己のライフスタイルを主体的に考える。 ○環境問題が生じる原因について理解し、持続可能な社会を目指すことの重要性を認識する。	○家計管理の重要性や家計と経済のかかわりなどについて自ら考えようとしている。【関】 ○自らの意思を表明し、行動することや消費者の責任について考える。【思】 ○ライフスタイルの確立に必要な技術を身につけている。【技】 ○経済発展などにより生じる環境問題を理解する。【知】	授業態度 ワークシート プリント学習 ノート提出 定期考査
	3	生涯の生活設計	1. 生活資源 2. キャリアを見通す 3. 持続可能な社会に向けて	○生涯を見通した自己の生活設計に関心をもち、考え、将来の生活設計のために必要な知識を身につけている。【関】【思】【技】【知】	

